

## 包装紙のデザイン提案

### ～東北地方の特徴を視覚的に表現したデザイン～

A2201429 中田 満里奈

#### 研究の背景

包装紙は、物を包み保護するだけでなく、装飾性も兼ね備えており、おもにデパートや百貨店など全国各地の店舗で使用されている。また、観光地にある店舗でも使用されており、その包装紙には店舗名や商品名を記載しているため広告の役割も兼ね備えている。包装紙の色や柄は豊富であるが、それらは包装紙に費用(デザイン費・印刷費)をかけている。その反面、地方の観光地の店舗はその余裕がなく、費用をかけられないため、包装紙のデザインの質に差が出ている。地方の観光地の店舗が用意している包装紙は種類が少なく、中高年に向けたデザインに偏っている。中高年だけでなく、若者にも目を向けてもらえるデザインにすることと、経済的に余裕がない地域・店舗でも使用できる包装紙を研究する。

#### 研究の目的

本研究では東北地方に限定し、その観光地で使用できる包装紙を提案する。観光客に東北地方の特徴と魅力を視覚的に伝えられ、ぬくもりや素朴さを感じられるデザインにする。そして、地域・店舗間で生じていた経済的な問題によるデザインの質の差をなくし、どの地域・店舗でも使用できるようにすることを最優先課題とする。また、費用(デザイン費・印刷費)をかけられない店舗でも利用でき、単色印刷でも成立するデザインを提案する。

#### 研究のプロセス

##### ① 調査

・各県の特産物や自然、観光名所、文化、歴史などを調査。

→同じ県でも、地域によって特徴が異なっているため3～4つのエリアに区分。

・東北六県を各エリアに区分する際、それぞれの県庁の広報・広聴課に電話取材。

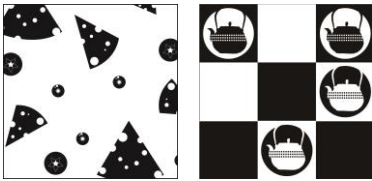
→電話取材の結果、正式な分け方というものはなく、用途(行政・気候など)によって分け方が異なることが分かった。そして、どの分け方が一番正しいかは一概には言えないので観光マップや県庁の公式ホームページを参考にしてほしいという意見があった。電話取材を参考に、今までの調査内容と県庁のホームページなどを合わせ、総合的に見て区分をした。

##### ② デザイン考案



明るく楽しい印象と、親しみやすさが感じられる手描き風のイラストでモチーフを表現した。

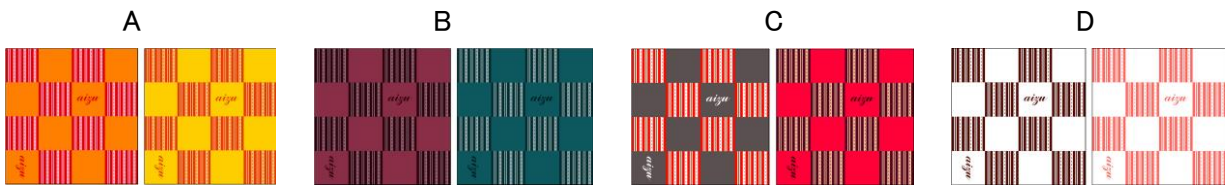
### ③ デザイン再考案



イラストによる表現は取り上げたモチーフの与える印象が強いため、幾何学模様やシルエットでモチーフを表現した。しかし、機械的で堅い印象が東北地方と合わないため、アンケート後にもう一度デザインを考案することにした。

### ④ アンケート調査

・包装紙のデザインに取り入れる要素、色の使い方、文字の有無について、サンプルの提示をしながら学外および学内でアンケート調査を行った。



A…鮮やかな色、B…落ち着いた色、C…鮮やかな色と落ち着いた色両方、D…シンプルな1色のみ

- ・その結果、Cの鮮やかな色と落ち着いた色両方を使ったものが一番多く選ばれた。
- ・文字の有無については、文字を入れたほうが良いという意見が多かった。

### ⑤ デザイン再々考案

これまでのデザイン考案とアンケート調査の結果をもとに、色と形の表現を見直した。



明快な白の線や模様といったはっきりとした表現と、にじみやぼかしといった素朴で柔らかな表現を融合させ、男女問わず、幅広い年代の人に受け入れられるデザインにした。また、印刷にかかるコストを抑えるために、モノクロでも成立するよう考慮した。

▲包装紙に使用するモチーフの一部

### 成果物

デザインしたモチーフを数パターンずつ用意し、どの方向から見てもバランスが整うようにパターンの配置を確認しながら組み合わせた。

・包装紙のサイズは一般的な半裁判(750mm×528mm)

### 考察

本研究を通して、調査結果をもとに一つの要素を形と色のみで伝えるのは難しく、様々な視点から表現方法を見直す必要があることを認識した。これまでのデザイン制作では、最終的に色に頼る傾向があり、色の選定が主観的で不十分だった。今回の研究では、幅広く受け入れてもらうデザインにするために客観的な意見が必要だと強く思い、色に関するアンケートを積極的に実施した。その結果、自分になかった考え方や問題点を発見し、それらをデザインに反映することで、新しい発見が生まれることをこの研究を通して実感することができた。